

Instagram はじめました



Follow me!
洛陽病院 広報委員会

この度、洛陽病院広報委員会のInstagramをはじめました。
院内アナウンスやイベントなど皆様への情報発信をまいります。
上のQRコードよりご覧ください。
ご登録もお待ちしております。

てとて Vol.5
洛陽病院では地域の皆さまと手と手を取り合い、連携を図っていく事に、よりよい医療を目指しています。

公益社団法人信和会
洛北診療所
にお話しをお伺いしました。

洛北診療所は叡山電鉄の岩倉駅から北に徒歩10分の所にある診療所です。
外来では赤ちゃんからご高齢の方まで気軽に立ち寄れる診療所となっており、地域のかかりつけ医を目指し日々診療にあたっています。
また外来受診が難しくなった方への往診や健康診断・各種予防接種まで対応しており、医療費の自己負担(無料低額診療事業)のご相談にも対応させて頂いております。
岩倉地域の皆様が少しでも健康に楽しくお過ごしいただけるようお手伝いできればと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

公益社団法人信和会
京都民医連 洛北診療所
〒606-0021
京都市左京区岩倉忠在地町 529
TEL 075-723-0960

謹賀新年



松本院長からのメッセージ

新年あけましておめでとうございます。
2025年は乙巳(きのとみ)の年になります。
乙巳は「これまでの努力や準備が実を結び、
焦らず粘り強く取り組むことで着実に前進に
向かっていく」年のようです。
これはまさしく私たちが目指すべきところ。
地域の皆様に少しでも必要としていただけるような
病院である為に、今年一年邁進してまいります。
今後とも宜しくお願い致します。



みんな集まれ!!! 「公園体操」

毎週木曜日の午前9時00分から
実相院横の公園で開催されている
公園体操に「洛陽病院」として
月に1回(第一木曜日)参加させて
頂いております。

今後も「いいくら」の健康に少し
でも貢献できるように参加させ
て頂きます。



陽だまり

HIDAMARI RAKUYO HOSPITAL PR MAGAZINE

Vol.5

2025
January



美味しい! 大好評と
ご意見が多数いただいております

食

洛陽病院の

CONTENTS

- 地域医療連携室の紹介
- Instagram の紹介
- 「てとて」～洛北診療所～

広報誌のタイトルは当院患者様のO・A様
「食」の文字はI・A様が書いてくださいました

医療法人寿尚会
洛陽病院



地域医療連携室

地域の中の社会財として…

岩倉地区には精神科病院は数か所ございますが、それを除けば現在、入院できる一般医療機関は当院しかありません。さらに当院の周囲には多くの介護系施設やクリニックが密集しているエリアになります。そこで我々は可能な限り、いわく地域のお困りごとや近隣施設様の相談にお応えできるように、関係機関様と連携をすすめてまいりたいと考えています。病院の持つ機能を地域の中の有効な社会財の一つとして機能させるために、より一層努めてまいります。



支援のシームレス化～入院前から始まる患者支援～

当院は病院規模としては135床の小規模病院になります。その為、連携室内においては、入院受けをする「前方支援」と退院支援を行う「後方支援」といった区分けをすることなく同一部署で両業務を行っております。そのことで、結果としてご紹介をいただく患者様が当院にご入院される前から退院支援担当者が知ることが出来ます。ご紹介をいただく医療機関様のソーシャルワーカーさんや支援者さんの「想い」や「熱量」といったバトンを私達が引き継ぎ、支援が途切れることのないように、私達が繋いでまいります。「支援のシームレス化」我々、小規模病院ならではのスケールメリットとなっています。

退院支援 ～退院する過程 (process) を支援していきます～

地域医療連携室内には社会福祉士や退院支援看護師を複数配置しております。私たちが最終的に目指すところは「患者様が私達に出逢えて良かった…この病院の職員に出逢えて良かった…」と思っただけのような病院作りに部署として貢献していくことです。患者様の「過去」や「価値観」に焦点を当てながら、「これから」の事(未来)について共に考えていきます。そのような想いも込めて部署内のスローガンを「**紡ぎ繋ぐ…**」にしました。(病院ホームページに私達が紡いだケース、2例をご紹介します。)



地域医療連携室室長



保田 雅幸 (社会福祉士)

「患者さまにとって良いと思ったことは全てやってあげて下さい…」
当院事務長から掛けられた言葉です。
その言葉が今の自分を支えていますし、それが他の病院にはない当院の強みだと心から感じています。ソーシャルワークの理念と文化を病院の中に少しでも定着させ、患者様や地域にチームとして貢献していけるように努めてまいります。

地域医療連携室主任



脇田 幸恵 (看護師)

洛陽病院にて4年が経ちました。
地域の皆様との関わりの中で多くの出会いがあり感謝しています。
これからも地域の相談窓口の一つとして頼っていただくことができるように努力していきたいと思っております。